

釜ヶ淵堰堤



CIArCo（不透過型・練り石積みアーチ式）

【出水時】



釜ヶ淵堰堤は、梓川の上流に位置する上高地の玄関口に位置する砂防堰堤です。近くにある焼岳は活火山であり、大正4年に大噴火をおこし、その時に梓川がせき止められ、大正池が誕生しました。この噴火とその後の大雨により、大量の土砂が梓川から信濃川、さらには日本海まで流れ、流域各地に被害を及ぼしました。焼岳や上高地地区の土砂災害を防ぐため、釜ヶ淵堰堤が昭和11年に着手され、昭和19年に完成しました。当時のもっとも進んだ技術を用いて建設された我が国最大級の練り石積みアーチ式砂防堰堤です。釜ヶ淵堰堤は当時の最も進んだ技術と、周囲と調和した景観が評価され、平成14年に国の登録有形文化財に指定されました。

施工の概要

釜ヶ淵堰堤は、当初は3年間で完成の予定でしたが、何度も出水で災害を受け、昭和19年ようやく完成しました。堰堤の表面は、流下する水や土砂からコンクリートが削られることを防ぐため、石積みがされ、内部のコンクリートには玉石が埋め込まれています。玉石が埋め込まれているのは、当時は貴重だったコンクリートの節約のためと、強度を上げる目的のためです。

諸元表

工作物名		釜ヶ淵堰堤				施工期間		昭和11年6月8日～ 昭和19年12月5日	
施行地先名		長野県松本市安曇上高地				河川名		信濃川水系犀川（梓川）	
計画諸元	地質	流域面積	洪水流量	扞止量	貯砂量	調節量	元河床勾配	貯砂勾配	
	焼岳溶岩 花崗岩	110.9 km ²	576 m ³ /s	2,704,00 0 m ³	2,100,00 0 m ³	263,000 m ³	1/21.3	1/28.6	
構造諸元	ダム・床固・護岸工	工種	型式	高 (m)	長 (m)	体積 (m ³)	天端幅 (m)	天端処理	天端標高 (m)
		主ダム	アーチ式	29.0	79.00	10,986	3.40	石張り	1430.00
		第1副ダム	アーチ式	8.0	42.00	739	3.00	石張り 及び コンクリート	1404.00
		第2副ダム	重力式	6.0	53.00	1477	3.00	石張り 及び コンクリート	1399.00

施工状況



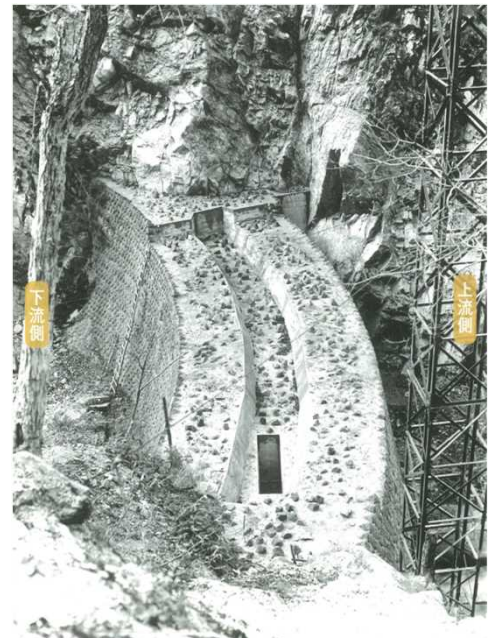
着工前



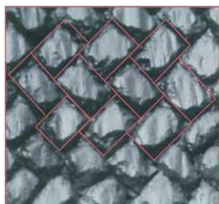
コンクリート打設状況



上下流側の堰堤表面の石積は、特に優れた技術を持つ石工職人により、ひとつひとつ手作業で施工されました。



堰堤内部に玉石を埋め込んだコンクリート



石の積み方は、最も美しく丈夫な方法とされる「矢羽小谷積(やばねこたにづみ)」というものです。

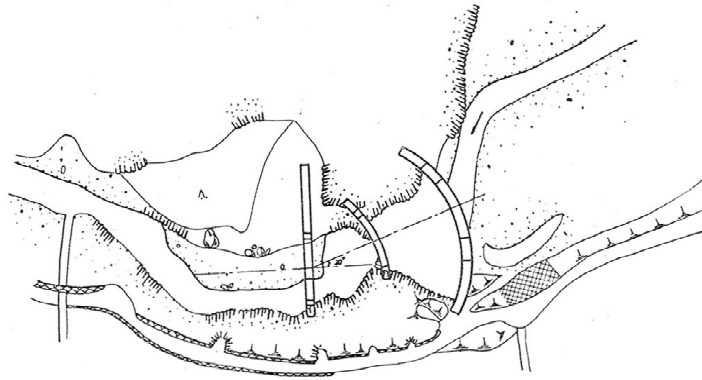


完成

構造図

平面図

S=1:2000



縦断図

